

ライブコンテンツ プロデューサー

取扱説明書

ソフトウェアバージョン 2.25 以降

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書および AWS-G500E の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書は、AWS-G500E 取扱説明書と組み合わせてご覧ください。

ANYCAST STATION



MEMORY STICK™

AWS-G500HD

安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

使用済の電池は、説明書に従って処理してください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

ネットワーク端子について

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

目次

安全上のご注意.....	2
はじめに	3
本機について.....	3
この取扱説明書の使いかたについて	3
標準構成のモジュールとは	3
各部の名称とはたらき	4
後面パネル	4
接続.....	4
本機を標準構成のモジュールで使用した場合の制限事項.....	6
メニュー設定値における注意事項.....	6
仕様	7

はじめに

本機について

Anycast Station ライブコンテンツプロデューサー AWS-G500HD は、ビデオスイッチングやカメラコントロール、インターネットライブ配信機能を備えた A/V 制作機器です。基本的な機能は AWS-G500E と同じですが、標準構成のモジュールで HD アナログや HD SDI の入力映像を切り換えることができます。

また、インターフェースモジュールを差し換えることで、AWS-G500 と同様に SD 信号を取り扱うことが可能です。

この取扱説明書の使いかたについて

この取扱説明書では、AWS-G500HD として最低限必要な情報のみを説明しています。

本機をご使用になるためには、AWS-G500HD 取扱説明書（本書）と AWS-G500E 取扱説明書をあわせてご覧ください。

ご注意

AWS-G500E の取扱説明書では、SD 信号を入力したときのメニュー画面のイラストが記載されているため、本機で HD 信号を入力したときのメニュー画面とは異なります。

標準構成のモジュールとは

本機には、以下のインターフェースモジュールが標準で装備されています。

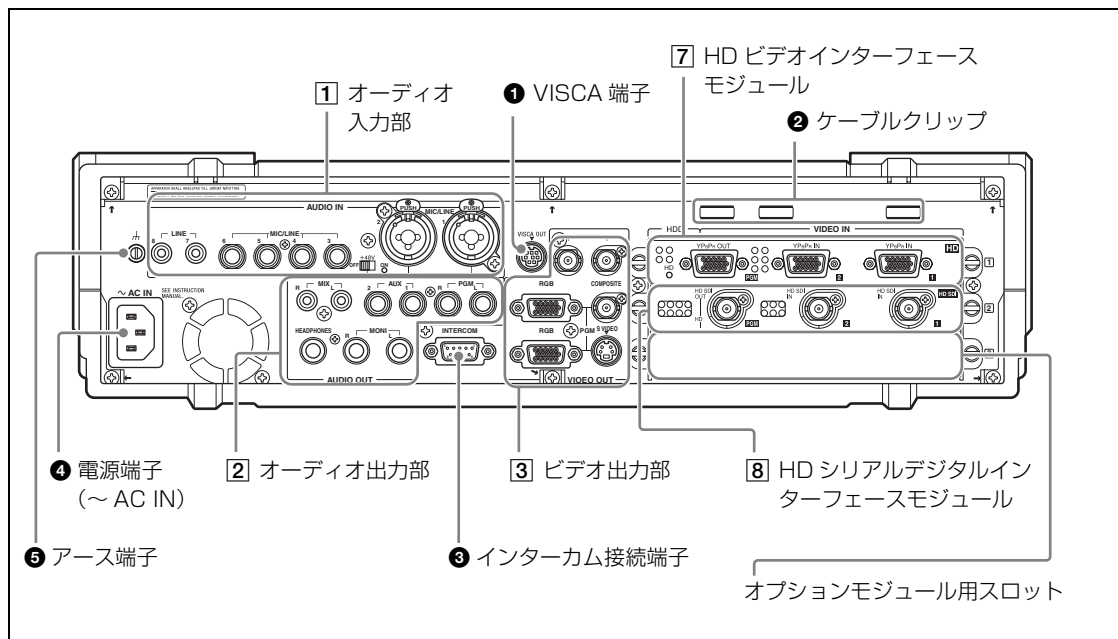
- HD ビデオインターフェースモジュール
- HD シリアルデジタルインターフェースモジュール

この取扱説明書では、これらのインターフェースモジュールのことを「標準構成のモジュール」と呼んでいます。

各部の名称とはたらき

AWS-G500E とは後面パネルのみ異なります。それ以外の情報については、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

後面パネル



後面パネルの各部のはたらきについては、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

ご注意

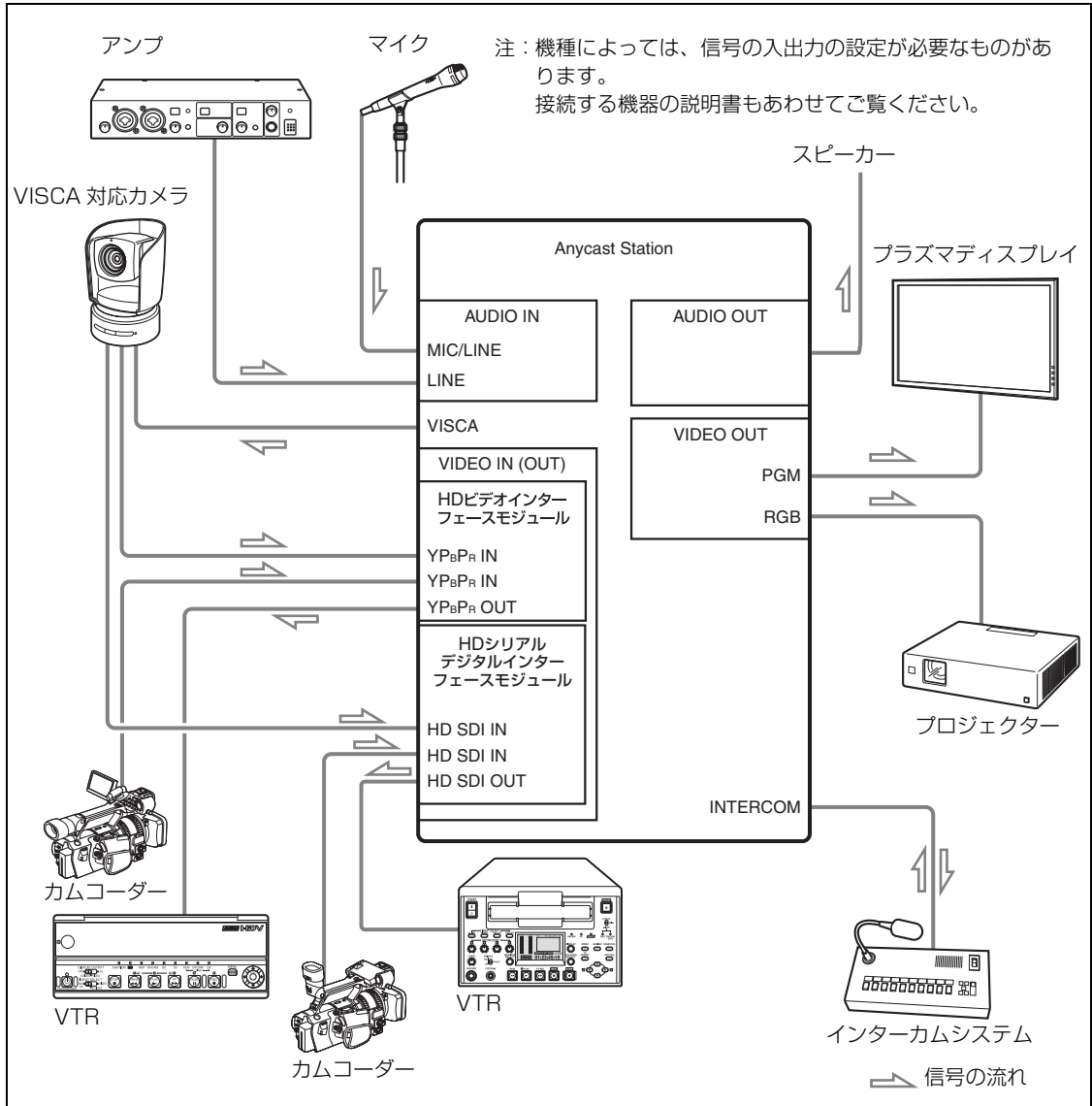
- 筐体からの排熱機能を維持するために、空きスロットには、必ずブランクパネルを装着してください。
- HD シリアルデジタルインターフェースモジュールの HD SDI 入力端子がオープンになっていると、周囲のノイズ等の影響により、HD SDI 回路が誤動作する場合があります。HD シリアルデジタルインターフェースモジュールをご使用の際は、HD SDI 入力端子がオープンにならないよう、75 Ω 終端器を取り付けてください。

接続

次の図では、システム構成例と信号の流れを示します。接続のしかたについては、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

また、各機器を接続した後、各入出力信号を本機で設定する必要があります。
各入出力信号の設定については AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

本機を標準構成のモジュールで使用した場合の構成例



ご注意

- ケーブル類（特に規定のない RGB）は、できるだけ短いものを使用してください。一般に、機器間の接続で長いケーブルを使用するとノイズの影響が発生する場合がありますため、ケーブルは短いものが推奨されています。本機とその他の機器を接続するときにも、できるだけ短いケーブルを使用することをお勧めします。
- 各インターフェースモジュールの端子部分は、使用環境や使用方法によって高温になる場合がありますのでご注意ください。

本機を標準構成のモジュールで使用した場合の制限事項

- 外付ハードディスクへの記録を行うことはできません。
- 本機によるVTRへの記録操作および再生操作を行うことはできません。

メニュー設定値における注意事項

工場出荷時およびトップメニューの [ジョブ] の [読み込み] で [デフォルト] に設定した場合、本機は AWS-G500E (SD 用) のデフォルト設定で起動されます。本機を HD 用 (標準構成のモジュール) で使用するには、以下のメニュー設定を行ってください。

- トップメニューの [ビデオ入力アサイン] の [5]、[6] の [映像入力] の項目に [S3-1 RGB]、[S3-2 RGB] と表示されます。用途に合わせて、[映像入力] の選択肢から [アサインなし] または [スロット 1]、[スロット 2] の入力を選択してください。

◆設定の変更については、AWS-G500E 取扱説明書の「映像入力信号を選択ボタンに割り当てる」をご覧ください。

必ず行ってください

- トップメニューの [ビデオ出力] の [PGM OUT アスペクト] が [4 : 3] に設定されています。これにより、オペレーション画面のプログラム/プレビュービューアーは 4 : 3 で表示され、標準構成のモジュールの出力端子からは信号が出力されません。**[16 : 9HD] に設定を変更してください。**これにより、プログラム/プレビュービューアーは 16 : 9 表示となり、標準構成のモジュールの出力端子の横にある HD ランプが点灯して信号が出力されます。

◆設定の変更については、AWS-G500E 取扱説明書の「PGM 出力アスペクトを設定する」をご覧ください。

仕様

一般

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	1.6 A - 0.8 A
動作温度	5 °C ~ 40 °C
外形寸法	424 × 114 × 339 mm (幅/高さ/奥行き、突起部含まず)
質量	約 8.0 kg

映像信号

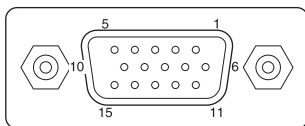
ビデオ入力 (標準構成)

YPbPr IN	D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹) 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i Y: 1.0 V _{p-p} (75 Ω) 同期付き Pb: 0.7 V _{p-p} (75 Ω) Pr: 0.7 V _{p-p} (75 Ω)
HD SDI IN	BNC × 2 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i 800 mV _{p-p} (75 Ω) SMPTE292M 準拠

HD 入力信号一覧

ビデオフォーマット	fH (kHz)	fV (Hz)	同期
1080/60i	33.750	59.94	S on Y
1080/50i	28.130	50.000	S on Y
720/60p	45.000	59.94	S on Y
720/50p	37.500	50.000	S on Y

コネクタピンアサイン一覧



ピン	信号	ピン	信号	ピン	信号
1	Pr (X)	6	Pr (GND)	11	NC
2	Y (X)	7	Y (GND)	12	NC
3	Pb (X)	8	Pb (GND)	13	未使用
4	NC	9	NC	14	未使用
5	GND	10	GND	15	NC

ビデオ出力

コンポジット	BNC × 1 VIDEO : 1.0 V _{p-p} (75 Ω) 同期負
S-VIDEO	DIN × 1 Y: 1.0 V _{p-p} (75 Ω) 同期負 C (BURST) : 0.286 V _{p-p} (75 Ω) (NTSC) C (BURST) : 0.3 V _{p-p} (75 Ω) (PAL)
YPbPr OUT	D-Sub Shrink (15 ピン) × 1 (凹) 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i Y: 1.0 V _{p-p} (75 Ω) 同期付き Pb: 0.7 V _{p-p} (75 Ω) Pr: 0.7 V _{p-p} (75 Ω)
HD SDI OUT	BNC × 1 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i 800 mV _{p-p} (75 Ω) SMPTE292M 準拠
RGB (VIDEO OUT)	15k RGB (50 Hz/59.94 Hz) R: 0.7 V _{p-p} (75 Ω) G: 0.7 V _{p-p} (75 Ω) B: 0.7 V _{p-p} (75 Ω) SYNC : 複合同期 TTL 出力
RGB	D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹) XGA (1,024 × 768 60 Hz、 75 Hz) SXGA (1,280 × 1,024 60 Hz) WXGA (1,280 × 768 60 Hz、 75 Hz)

メニュー設定		信号フォーマット	FH (kHz)	FV (Hz)	同期
RGB OUT *	PGM OUT **				
XGA 60Hz	-	XGA VESA (DMT) 60 Hz	48.363	60.004	H-負 V-負
XGA 75Hz	-	XGA VESA (DMT) 75 Hz	60.023	75.029	H-正 V-正
SXGA 60Hz	-	SXGA VESA (DMT) 60 Hz	67.500	75.000	H-正 V-正
Video RGB	NTSC	15k RGB 60 Hz	15.734	59.940	コンポジットシンク
	PAL	15k RGB 50 Hz	15.625	50.000	コンポジットシンク
RGB OUT	-	WXGA 60 Hz	47.693	59.992	H-負 V-正
	-	WXGA 75 Hz	60.091	74.926	H-負 V-正

* RGB OUT の設定については、AWS-G500E 取扱説明書の「RGB 出力信号フォーマットを設定する」をご覧ください。

** PGM OUT の設定については、AWS-G500E 取扱説明書の「映像出力信号フォーマットを設定する」をご覧ください。

REF OUT BNC × 2
Sync: 0.286 Vp-p (75 Ω)
(NTSC)
Sync: 0.3 Vp-p (75 Ω) (PAL)
C (BURST) : 0.286 Vp-p
(75 Ω) (NTSC)
C (BURST) : 0.3 Vp-p (75 Ω)
(PAL)

音声信号

オーディオ入力

アナログ入力 1-2

XLR/TRS Combo × 2
基準レベル : +4 dBu、
- 20 dBu、- 44 dBu
Mic. Power : +48 V

アナログ入力 3-6

TRS × 4/ 基準レベル :
+4 dBu、- 20 dBu、
- 44 dBu

アナログ入力 7-8

Pin × 2/ 基準レベル :
- 10 dBu

HD SDI IN

BNC × 2
720/59.94p、720/50p、
1080/59.94i、1080/50i
オーディオサンプリング周波
数 : 20 bit 48 kHz 2 ch
(1/2 ch または 3/4 ch)
SMPTE299M 準拠

オーディオ出力

PGM OUT

TRS × 2/
基準レベル : + 4 dBu/
インピーダンス : 150 Ω

MIX OUT

Pin × 2/
基準レベル : - 10 dBu/
インピーダンス : 470 Ω

AUX OUT

TRS × 2/
基準レベル : + 4 dBu/
インピーダンス : 150 Ω

MONITOR OUT

TRS × 2/
基準レベル : + 4 dBu/
インピーダンス : 150 Ω

HD SDI OUT

BNC × 1
720/59.94p、720/50p、

1080/59.94i、1080/50i
オーディオサンプリング周波
数 : 20 bit 48 kHz 2 ch
(1/2 ch)
SMPTE299M 準拠

HEADPHONES 1/4 インチ ステレオ標準ジャック × 1

70 mW × 2/ インピーダンス :
47 Ω

INTERCOM D-Sub 9 ピン × 1 (凹) /
Original Parallel I/O

その他インターフェース

ネットワーク RJ-45 × 1、10 Base-T/
100 Base-TX

USB USB A × 2、USB 準拠
RGB (GUI) D-Sub Shrink (15 ピン) × 1
(凹)、

WXGA 1,280 × 800 60 Hz

REMOTE D-Sub 9 ピン (凸) × 1、
(将来の拡張機能です) RS-232C

FACTORY USE

D-Sub 15 ピン × 1 (凸) /
Original Parallel I/O

「メモリースティック」

「メモリースティック」
スロット

VISCA

DIN 8 ピン × 1、RS-232C
Sony VISCA カメラコマンドを
サポートしています。

LCD

15.4 型 WXGA
(1,440 × 900 * 60 Hz)

スピーカー

内蔵スピーカー × 2、
サイズ : 20 × 40 mm

* シリアル番号 71001 以降の Anycast Station に搭載された
LCD パネルの仕様です。シリアル番号 71001 以前の LCD パ
ネルの仕様は、WXGA 1,280 × 800 60 Hz です。「その他イ
ンターフェース」の RGB (GUI) の仕様は、シリアル番号に
かかわらず WXGA 1,280 × 800 60 Hz です。

付属品

CD-ROM (Manual) (1)

CD-ROM (Tutorial) (1)

CD-ROM の使い方 (1)

BNC 75Ω 終端器 (1)

電源ケーブル (1)

3 極 → 2 極変換プラグ (電源) (1)

取扱説明書 (2) (AWS-G500E、AWS-G500HD)

キーボード (1) 85 キー + ポインター / 赤外
線通信

電源 (AWS-G500HD から供給) : +5 V
 バッテリー : CR2032 または CR2032H × 2

別売りアクセサリ

BKAW-550 PC ビデオインターフェースモジュール

RGB D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹)
 XGA (1,024 × 768 60 Hz、70 Hz、75 Hz)
 SXGA (1,280 × 1,024 60 Hz、75 Hz)
 VESA (DMT) 準拠
 WXGA (1,280 × 768 60 Hz)

PC RGB 入力信号一覧						
フォーマット		fH	fV	ドット クロック	同期 極性	
		[kHz]	[Hz]	[MHz]	水平	垂直
1,024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	負	負
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	負	負
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	正	正
1,280 × 1,024	SXGA VESA 60 Hz	63.981	60.02	108	正	正
	SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	135	正	正
	WXGA * 60 Hz	47.693	59.992	80.125	負	正

* Macintosh からの入力には対応していません。

BKAW-560 HD ビデオインターフェースモジュール

(本体のスロット 1 に標準装備)

YPBPr IN D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹)
 720/59.94p、720/50p、
 1080/59.94i、1080/50i
 Y: 1.0 Vp-p (75 Ω) 同期付き
 Pb: 0.7 Vp-p (75 Ω)
 Pr: 0.7 Vp-p (75 Ω)
 YPBPr OUT D-Sub Shrink (15 ピン) × 1 (凹)
 720/59.94p、720/50p、
 1080/59.94i、1080/50i
 Y: 1.0 Vp-p (75 Ω) 同期付き
 Pb: 0.7 Vp-p (75 Ω)
 Pr: 0.7 Vp-p (75 Ω)

BKAW-570 SD ビデオインターフェースモジュール

コンポジット BNC × 2
 VIDEO : 1.0 Vp-p (75 Ω)
 同期負

S-VIDEO DIN × 2
 Y: 1.0 Vp-p (75 Ω) 同期負
 C (BURST) : 0.286 Vp-p (75 Ω) (NTSC)
 C (BURST) : 0.3 Vp-p (75 Ω) (PAL)

DV IN/OUT i.LINK : IEEE1394 (6 ピン) × 2
 IEC 61883-2 準拠
 オーディオ入力 :
 基準レベル : - 20 dBFS
 サンプリング周波数 :
 12 bit 32 kHz 4 ch のうち
 1 ch、2 ch のみ採用
 16 bit 48 kHz 2 ch
 オーディオ出力 :
 基準レベル : - 20 dBFS
 サンプリング周波数 :
 12 bit 32 kHz 4 ch
 16 bit 48 kHz 2 ch
 HDD i.LINK : IEEE1394 (6 ピン) × 1
 HDD IF : SBP2

BKAW-580/BKAW-581*1 シリアルデジタルインターフェースモジュール

SDI IN BNC × 2
 VIDEO : 800 mVp-p (75 Ω)
 SMPTE259M-C ITU-R656 準拠
 AUDIO :
 オーディオサンプリング周波数 : 20 bit 48 kHz 2 ch (1/2 ch または 3/4 ch)
 SMPTE272M-A 準拠
 SDI OUT BNC × 1
 VIDEO : 800 mVp-p (75 Ω)
 SMPTE259M-C ITU-R656 準拠
 AUDIO :
 オーディオサンプリング周波数 : 20 bit 48 kHz 2 ch (1/2 ch)
 SMPTE272M-A 準拠
 HDD*2 i.LINK : IEEE1394 S400 (6 ピン) × 1
 HDD IF : SBP2

* 1 ソフトウェアバージョン 2.30 以降で対応

* 2 BKAW-580 のみ

BKAW-590 HD シリアルデジタルインターフェースモジュール

(本体のロット 2 に標準装備)

HD SDI IN BNC × 2
720/59.94p、720/50p、
1080/59.94i、1080/50i
VIDEO : 800 mVp-p (75 Ω)
SMPTE292M 準拠
AUDIO :
オーディオサンプリング周波
数 : 20 bit 48 kHz 2 ch
(1/2 ch または 3/4 ch)
SMPTE299M 準拠

HD SDI OUT BNC × 1
720/59.94p、720/50p、
1080/59.94i、1080/50i
VIDEO : 800 mVp-p (75 Ω)
SMPTE292M 準拠
AUDIO :
オーディオサンプリング周波
数 : 20 bit 48 kHz 2 ch
(1/2 ch)
SMPTE299M 準拠

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ご注意

AWS-G500 シリーズの映像信号処理では、SDI 信号の入力対出力に対して透過性*は確保されていません。

*量子化された数値がまったく同一なこと。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ